

# NU-COIL LETTER

POWER OF COLLABORATION

VOL.6



feat. 山岸敬和 Takakazu Yamagishi



Interviewer  
藤掛 千絵 Chie Fujikake

## 【国際センター長との対談】

今回は、南山大学国際センター長である山岸先生の声をお届けしたいと思います。国際センターの役割をセンター長の視点から語っていただきました。また、大学の国際化におけるNU-COILの役割についても触れていただきました。(2021年10月29日)

藤掛) 本日はよろしくお願ひします。唐突ではありますが、国際センターのセンター長のお仕事ってどんなお仕事ですか？仕事の醍醐味も含めて教えてください。

山岸) 留学生の送り出しと受け入れ、そしてキャンパスでの国際交流の促進が主な仕事です。醍醐味は、留学を経験したり、外国人と交流したりした学生の充実した楽しそうな顔が見れることです。

藤掛) ありがとうございます。国際交流が促進される中で、NU-COILは南山大学にどんな新しい風を吹かせていますか？

山岸) NU-COILは、オンラインによる国際的な学びが授業に取り入れられる大きなきっかけになりました。同時に授業を改善していくための教員側の学びのスペースも生まれたことは重要だと思います。

藤掛) 教員側の学びという観点で言うと、第3クォーター開講のPBL COILを教えられて、いかがでしたか？

山岸) 海外の先生、連携企業・団体の方々との関係性の構築は、本当に大変だと気づきました(私の授業では一緒にやっていた小野先生が一手に引き受けていましたが)。でも手間をかけた分、学生にとっては貴重な学びになったようで、最終報告の時の充実した様子を見てとても嬉しくなりました。

藤掛) PBL COIL、本当にお疲れ様でした。最後に、センター長の夢を一言でお願いします！

山岸) 月並みですが、できるだけ多くの若者が成長するサポートができればと思います。不確実性が高いこれからの世界だからこそ、国と国をつなぎ、文化と文化を繋ぐ人が必要になります。今の若者にはぜひ世界で必要とされる人材になってほしいと思います。

藤掛) ありがとうございました。